

七夕のお願い

『ぼくたちの
お願いは
だれがかなえて
くれるの?』

『しらなかったの?
織姫さまと
彦星さまよ』



めずらしくて
おいしいものがたべたい

字がうまい
まなぶよう

ぐも
くま
きり
が

ザッ

『あつ
たいへん!
雨がふって
きちゃった!』

『いまごろ
天の川も
雨がふってきて
織姫さまと
彦星さまはとても
悲しんでいるわ』



『もし
あの二人が
今夜会えないと
みんなのお願いも
かなえられないのよ』

『えっ
それ本当!』

『すぐ天の川に
行きましよう!!』

『かならず
織姫さまと
彦星さまが
会えるように
手助けするのよ!!』



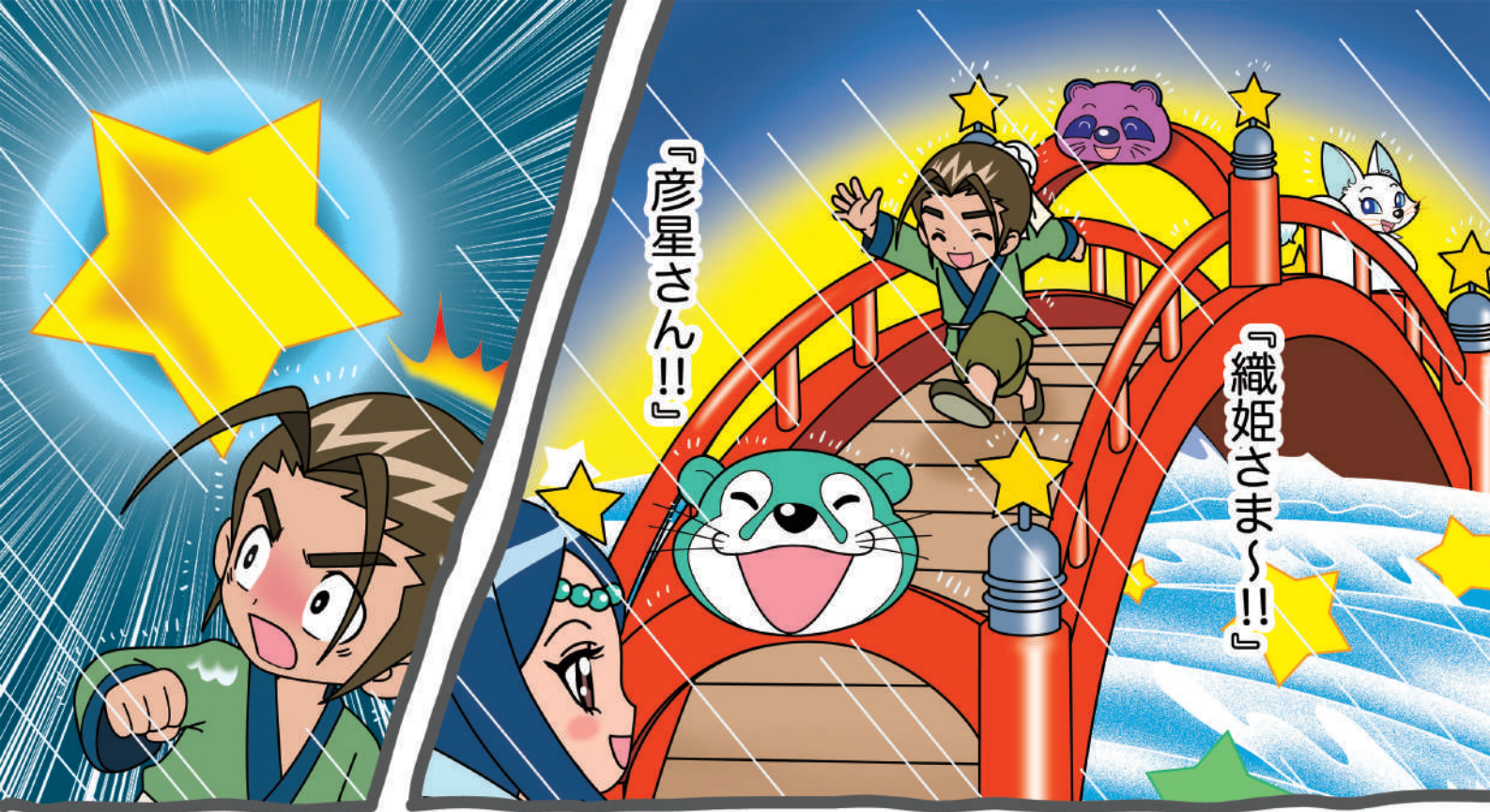
『やっぱり!!
天の川は
すごい事に
なっている!
この川を舟で
わたるなんて
とても危険よ』



『大丈夫よ
すぐに会わせて
あげるわ!』

『彦星さん
無理しないで!
今夜は
あきらめましょう!!』

『織姫さん
この流れじゃ
渡るの
難しいかも
しれない!』



『彦星さん!!』

『織姫さま!!』



『カササギに
変身!!』

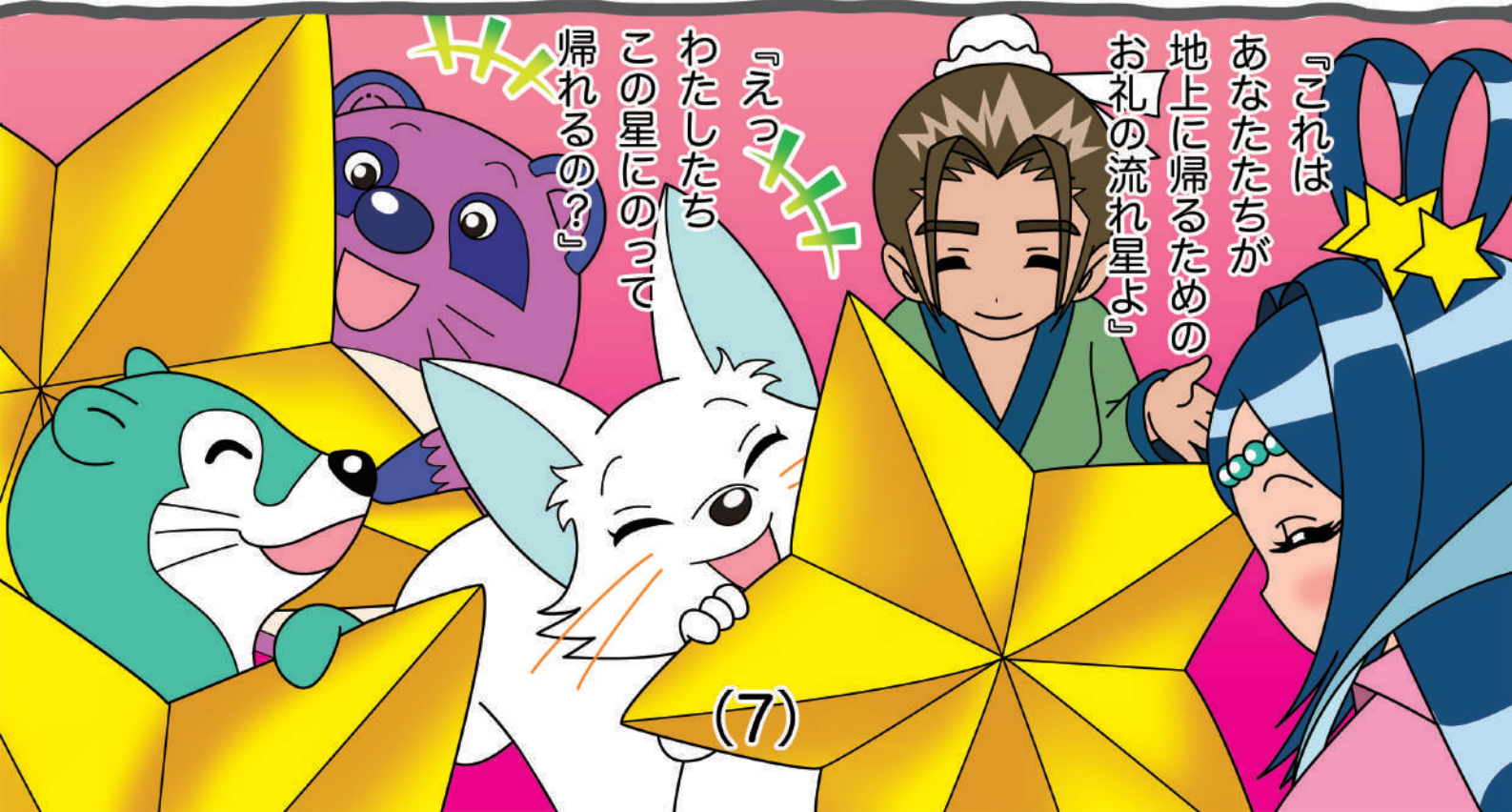




『わあ！
本当だ
お願いした
お菓子が
いっぱいある!!』



『あら？
そんなことはないわ
七夕の日はどんな事が
あっても天の神様は
お願いをきいて
くれるのよ』



『えっ
わたしたち
この星にのって
帰れるの?』

『これは
あなたが
地上に帰るための
お礼の流れ星よ』

『こんどは
あなたたちが
流れ星になって
みんなの願い事を
かなえてあげてね』

『わーい
星空をいっぱい
遊んで帰ります』

『あの流れ星
遊び回って
いるみたいね
しかも三つも
あるから願い事
いっぱいできるね』